

授業科目	臨床実習 3	3 学年・後期・4 単位 (180 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	小塚直樹 (保健医療学研究棟 E415 号) e-mail : kozuka@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、井平光、田代英之		
概要	<p>小児発達障害理学療法系実習 脳性麻痺、小児神経筋疾患、二分脊椎などに対する基本的な理学療法評価を実施し、得られた結果に対する分析を行うとともに、治療を体験する。</p> <p>高齢者・地域理学療法系実習 心身に障害を有する高齢者の在宅系(老人保健施設、訪問理学療法)の理学療法を体験し、高齢者における在宅・施設の理学療法的重要性を”生活支援や自立支援”の観点から学習する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症例評価を通じて、各種の情報収集や検査・測定を計画的に実施できる。 2. 患者の社会的背景や、病院・施設内の他部門の関わり方およびアプローチに留意できる。 3. データを統合・解釈して、対象患者やクライアントの問題点を考察できる。 4. 実習を通じ、理学療法に求められる役割やニーズを理解する。 		
評価	<p>小児発達障害理学療法系実習 臨床実習指導者による評価、実習レポートにより総合的に評価する(評価にはルーブリックを用いる)。</p> <p>高齢者・地域理学療法系実習 臨床実習指導者による評価、実習レポートを基に総合的に評価する(評価にはルーブリックを用いる)。</p>		
履修上の留意点	実習前のオリエンテーションは必ず出席のこと。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<p>小児発達障害理学療法系実習 実習 1 期 : A グループ 5 名、B グループ 5 名 実習 2 期 : C グループ 5 名、D グループ 5 名</p> <p>高齢者・地域理学療法系実習 実習 1 期 : 10 名を、2-3 名のグループに分けて実施する。 実習 2 期 : 10 名を、2-3 名のグループに分けて実施する。</p>
実習期間	<p>実習 1 期 : 2 月上旬の 10 日間 実習 2 期 : 2 月下旬から 3 月上旬にかけての 10 日間</p>
実習場所	<p>小児発達障害理学療法系実習 実習 1 期施設(北海道立子ども総合医療・療育センター、北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター) 実習 2 期施設(北海道医療センター、北斗病院十勝リハビリテーションセンター)</p> <p>高齢者・地域理学療法系実習 1 期・2 期施設(ラバース、グラーネ北の沢、ひまわり、サンビオーズ新琴似、けあばんけい、平和の杜)</p>
実習時間	<p>小児発達障害理学療法系実習 基本的に 9 : 00 ~ 17 : 00 であるが、実習施設の就業時間およびスケジュールに従う。</p> <p>高齢者・地域理学療法系実習 基本的に 9 : 00 ~ 17 : 00 であるが、実習施設の就業時間およびスケジュールに従う。</p>

実 習 内 容	<p>小児発達障害理学療法系実習 評価と治療</p> <p>高齢者・地域理学療法系実習 リハビリテーション計画案作成、その他適宜指定する。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------